

八 上 下 審 第 8 号
令 和 8 年 1 月 27 日

八千代市事業管理者 豊田 和男 様

八千代市上下水道事業運営審議会
会 長 森 中 祐 治

「八千代市社会資本総合整備計画（下水道事業）事後評価」について（答申）

令和7年12月12日付け下水第442号により諮問のあった標記の件について、下記のとおり答申いたします。

記

I. 答申

答申にあたっては、国の要領に基づき「要素事業の進捗状況」、「事業効果の発現状況」、「評価指標の最終目標値の実現状況」、「今後の方針」の4項目を中心として審議し、その内容を踏まえ、以下のとおり答申する。

1. 八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全)

(1)要素事業の進捗状況

①一部事業において、当初の計画からの遅れがあったが、概ね計画どおり事業が完了したことを確認した。

(2)事業効果の発現状況

①計画的な下水道施設の点検・調査等を行うことにより、持続的な下水道機能の確保に寄与したことを確認した。

(3)評価指標の最終目標値の実現状況

①概ね目標値を達成したことを確認した。

(4)今後の方針

①引き続きストックマネジメント計画に基づく計画的な点検・調査等を行うことにより、持続的な下水道機能の確保に努めていくことに賛同する。

2. 八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全) (重点

計画)

(1) 要素事業の進捗状況

①一部事業において、当初の計画からの遅れがあったが、概ね計画どおり事業が完了したことを確認した。

(2) 事業効果の発現状況

①計画的な下水道施設の点検・調査等を行うことにより、持続的な下水道機能の確保に寄与したことを確認した。

②雨水施設の整備を実施することにより、浸水被害の軽減に寄与したことを確認した。

(3) 評価指標の最終目標値の実現状況

①概ね目標値を達成したことを確認した。

(4) 今後の方針

①引き続きストックマネジメント計画に基づく計画的な点検・調査等を行うことにより、持続的な下水道機能の確保に努めていくことに賛同する。

②近年の集中豪雨などによる浸水被害の軽減を図っていくため、引き続き浸水対策事業を実施していくことに賛同する。

II. おわりに

下水道は汚水の排除による生活環境の改善及び雨水の排除による浸水の防除、公共用水域の水質の保全等多岐にわたる役割を担っており、市民が健康で快適に暮らしていくために不可欠な社会基盤である。

近年では、局地的集中豪雨の頻発等これまで経験したことのない規模の災害に対する備えに加え、埼玉県八潮市で発生した污水管渠の老朽化を起因した道路陥没においては污水管渠への排水が制限され、市民生活に大きな支障を及ぼしたことなど、下水道機能の維持・充実は一層重要となっている。

ついては、今後とも浸水被害の軽減を図るための対策及び「八千代市下水道ストックマネジメント計画」に基づく計画的な下水道施設の改築更新を図られるよう要望する。

なお、事業の評価にあたっては、可能な限り定量的な数値を明示し、客観的なデータを基に評価し、分かりやすく住民に公表するように努められたい。